



赤い羽根共同募金が始まっています！

10月1日より令和6年度赤い羽根共同募金運動が始まっています！

皆さまからお預かりした募金の約9割は丹波市の福祉事業に活用され、約1割は、県内の福祉施設や大規模震災に備える準備金として活用されています。

丹波市の福祉事業では、学校で取り組まれている福祉学習や自治会で取り組まれる福祉活動の助成金や地域で活動されている「ふれあいいきいきサロン」の助成金、また認定こども園の保育資材の購入の助成金などに活用されています。



令和6年度さちよ
元気まつりで PR



令和5年度
街頭募金の様子



赤い羽根共同募金は、戸別募金・法人募金・篤志募金として地域の皆さまや企業、個人の方からたくさんのご協力を頂いています。ありがとうございます。

丹波市社協では、赤い羽根共同募金をより多くの方に知っていただくために、地域のイベントに参加したり、街頭募金を行っています。

10月27日(日)には、11時からゆめタウンで氷上西高等学校の生徒さんと街頭募金活動を行う予定です！☆

活動を見かけられた際は、ご協力よろしくお願いたします！

話し合うことで少しずつ

9月22日に葛野地区の支えあい推進会議『かどの地区生活支援推進会議』が開催され、各自治会での支えあい活動の推進と各関係者の連携強化を目的として、自治会長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員を対象に研修会 & 交流会を実施されました。

当日は、「気かけ合い、支え合う関係を地域ではぐくむ」をテーマの講演を聞いた後、自治会ごとに分かれて交流会として意見交換を実施されました。

交流会では、「自治会の行事に参加されない方の見守りどのように行うか」、「システム化された見守りではなく、自然なカタチでの見守りや情報共有をどのようにすすめていくか」などの意見が出ていました。

終了後には互いの連絡先を交換するなど、今後に向けてすぐに動かれている自治会もありました。

このような取り組みは、自治会での支えあい活動などにつながり安心して暮らせる地域となります。社協も皆さんと一緒に取り組んでいきます。





新たなつどいの場

地頭自治会では、10月6日にふれあい・いきいきサロンの第1回目を開催されました。

昨年度より、自治会内でのアンケート調査や健康講座でつどいの場について学ぶ会を実施されるなど様々な取り組みをされ、開催に至っています。

第1回の実施まで、社協もお手伝いさせていただいたこともあり、当日はつどいの場の大切さのお話と脳活ゲームをさせていただきました。参加されているみなさんが笑顔で楽しそうにお話しされている姿を見ることができてとても嬉しい気持ちになりました。



この新たなつどいの場でたくさんの笑顔やつながりが広がると良いですね！

みなさんの自治会でもふれあい・いきいきサロンを始めてみたいなどお気軽にご相談下さい。

高齢者の大変さを実感！



9月26日東小学校5年生44名がエルダートライ(高齢者疑似)体験をしました。手・足首の重りや、肘や膝に用具をつけ、ゴーグル、ヘッドホン、手袋をします。腰が曲がった状態になるように首に下げた用具と膝の用具をつないだら体験スタートです。校舎を3階まで上がって、1階まで下りたら箸でビー玉を摘まんだり、新聞をめくったり etc・・・楽しかったようですが、大変さもよくわかったと思います。高齢者に優しく、地域に目が向けられる意識を持ってもらえたのではないかと思います。

食で笑顔に♡



9月28日にぬぬぎ子どもふれあい食堂に伺いました。篠山産業高校の学生2名がボランティアで活躍。担当の先生がしっかり活動できているか、見に来られていました😊午前の練習を終えた沼貫少年野球クラブの子どもたちと一緒に“いただきます”。メニューは焼きそば、かぼちゃのサラダとパン、ゼリーです。みんなでおいしくいただきました。感謝！

今、あなたの力が必要です！

くらし応援隊養成講座の受講者を募集しています！

くらし応援隊とは、高齢者が住み慣れた地域(自宅)で安心して生活を続けるためにお部屋の掃除や買い物、ゴミ出し等の生活の困りごとを支援する有償ボランティアです。活動1時間当たり600円の活動報酬などがあります。

第2回目の講座を11月20日(水)、22日(金)に氷上住民センターにて開催予定です。講座の詳細や申し込み方法などは、二次元コードよりご確認ください。みなさんのご参加をお待ちしています！



依頼者の声

掃除をしてもらって助かっています。いろいろなお話しもしてくださり毎回楽しみです。



くらし応援隊の声

自分の出来る範囲の活動で喜んでもらえて嬉しいです。活動を通して私も元気をもらっています。

詳細はこちら→

